



## ヒヨドリジョウゴ（鶉上戸）〈ナス科 ナス属〉

日本各地の山野に生えるツル性の多年草。茎をツル状に伸ばしながら、葉柄で木の幹や枝などにかからませる。枝や葉には細かな軟毛が密に生える。葉は互生し長さ3～10 ㍎の卵形で、下部の葉は深く切れ込む。花は、直径約1 ㍎の白色、夏から秋にかけて咲く。実は晩秋、直径8 ㍍ほどの大きさと赤く熟す。名はヒヨドリが好んで食べることから。近似種のヤマノホロシの茎はほとんど無毛。・・・▼色の乏しいこの季節、目に飛び込んできた色は透き通った艶やかな赤。近づいてみると、葉を落とした枝にはたくさんの実が賑やかだった。▼赤い果実、じつは、害虫には目立たず、種子を運んでくれる鳥にはよく見える進化の産物ときいた。争いを繰り返す進化のない人間界。今、こうしている間でも・・・  
来たれ平和！

～佐伯区湯来町 2023・12～